

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体				
がん検診受診率向上対策			中保健センター				
事業目的	事業内容	活動指標	R2	R3	R4		
<p>中区地域計画における「健(検)診受診率向上のための体制整備」をめざし、次のことに取り組む。</p> <p>○死亡原因の1位である「がん」についての正しい知識を啓発し、がんに対する理解を促すことで、がん検診受診率の向上へとつなげる。</p>	<p>日頃から実施している保健センターでの教室や地域での健康教育に加え、若い世代も参加しやすいように、区民フェスタでの啓発や肺がん検診、日曜乳がん検診などを実施する。また、啓発ポスターやデジタルサイネージを活用し、がん検診受診勧奨に関する情報発信をする。</p>	<p>啓発イベントや健康教育の実施回数</p> <p>啓発イベントや健康教育の参加人数</p>	<p>①NPOによる講演 1回 ②健康フェスタ開催中止 ③乳がん休日検診 1回 ④地域の健康教育 25回</p> <p>①37人 ②0人(開催中止のため) ③37人 ④850人(紙面啓発含まず)</p>	<p>①NPOによる講演 1回 ②健康フェスタ開催中止 ③乳がん休日検診 1回 ④地域の健康教育 19回</p> <p>①29人 ②0人(開催中止のため) ③29人 ④809人(紙面啓発含まず)</p>	<p>①NPOによる講演 1回 ②区民フェスタにて実施 ③乳がん休日検診 1回 ④地域の健康教育 49回</p> <p>①39人 ②117人(肺がん検診) ③39人 ④1483人(紙面啓発含まず)</p>		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	「がん」は日本人の死亡原因の第1位であり、堺市中区の死亡原因第1位でもある。 がん検診受診率を向上させることで、誰もが健やかで生き生きと暮らせるまちの実現に近づけることができる。	○	NPOと連携しての講演会や健康教育実施については、企画段階から双方で内容を検討し、新型コロナウイルスの感染状況も踏まえ、3密を避けた環境のもと啓発活動を実施できた。	○	NPOと連携して事業に取り組み、日曜日に集団検診を実施することで平日では参加しにくい区民へ呼びかけることができた。また、動画作成し情報を配信することで、区民の都合のいい時間帯に情報を配信する機会を設けることができた。区民フェスタで肺がん検診を実施することで、日頃関わる機会が少ない区民にも周知する機会を持つことができた。	○	区内で、休日にごがん検診を実施している施設は少なく、事業の実施日を休日に設定することで、平日の事業に参加できない、がんの好発年齢である年齢層の参加が期待できる。
⑤自立発展性		総合評価					
○	区民に広く、がんについての正しい知識を普及することで、検診受診も含めた主体的な健康管理につながる。また、休日にごがん検診を実施する施設が少なく、今後も事業の継続実施が必要である。	○	NPOとの連携、区民フェスタ時の啓発により、幅広い年齢層の参加につながった。日曜乳がん検診は予約する期間を延ばすことで前年度よりも予約人数が多く、前年度を上回る受診者数となった。ただ、地域のイベントと重なった為、当日キャンセルがあった。次回は多くの人にごがん検診を受ける機会を逃さないよう日程の調整が必要と感じた。また、がんに関する動画を作成し、配信する事ができたため、より多くの人に情報提供ができるよう今後工夫が必要となる。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
<p>拡充</p> <p>継続</p> <p>見直し</p>	<p>区民各々が、自分自身の健康管理について関心を高められるよう、協力を得ることができる関係機関を増やすことや、多くの人にごがん検診を受ける機会を逃さないような工夫が必要と考えられる。来年度も引き続き保健センター事業や地区活動の中で啓発ができる機会を逃すことなく工夫しながらの啓発を行う。また、検診未受診者に対しては、個別のアプローチを行っていく。</p>						